

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報9月1日号 全国酪農協会
検定成績・体細胞数を集計
体細胞数の度数分布を紹介
- 2 全酪新報9月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその39 今こそ近親交配を回避！
牛群検定に参加している血統登録牛の近交係数の平均を、過去からの推移として紹介しています。
- 3 酪農ジャーナル9月号 酪農学園大学エクステンションセンター
牛群検定だより(第30回)体細胞数の度数分布から
体細胞数の度数分布から検定成績の活用を紹介
- 4 LIAJニュース7月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その43)
体細胞数からみた健康管理
体細胞数のデータ分布から、平均値や中央値、リニアスコアといった情報を紹介

我が国で初の国産乳量計 MMD500 オリオン機械よりデビュー

牛群検定に用いられる乳量計は、ICAR(International Committee for Animal Recording 家畜の能力検定に係る国際委員会本部 イタリア)による厳しい国際試験を合格したもの以外用いることはできません。

この度、オリオン機械株式会社が開発したMMD500が見事に国際試験を合格しました。主に同社のキャリロボ等に用いられている乳量計となります。今後、牛群検定で使用できますので、キャリロボを利用されている農家で牛群検定未加入であれば、これを機会に検定加入をご検討下さい。

牛群検定で利用できる乳量計一覧

[牛群検定全国協議会](#) [検索](#)



熊本地震における 牛群検定組合の支援のための募金終了のお知らせ

本年4月に発生した熊本地震につきましては、人命をはじめとする甚大なる被害が生じています。酪農関係においても例外ではなく、熊本県の乳用牛群検定においては、乳量計検査所の倒壊や、それに伴うによる乳量計の故障、検定員の作業服の滅失などが発生しています

こういった事態を受けて、乳用牛群検定全国協議会では、熊本県下の検定組合を支援するため、募金による支援を行うこととしました。各都道府県の牛群検定実施団体に支援を募ったところ多額の義援金を賜りました。ご協力を賜った皆様に厚く御礼を申し上げます。

現在、支援物資の購入等の準備を進めているところです。支援の詳しい状況等は、おって報告申し上げます。

毛根採取にご協力下さい

今年度の乳用牛能力向上事業（遺伝能力向上対策）においては、後代検定における調整交配で生産された娘牛とその同世代牛の毛根を採取し、SNP検査を行うこととなっています。後代検定娘牛を繋養されている農家のみなさんには、次のご協力をお願いします。対象農家には別途県団体または検定組合から連絡があります。

- ①対象牛の血統登録
- ②牛群検定の未經産加入
- ③毛根採取時の牛の固定など

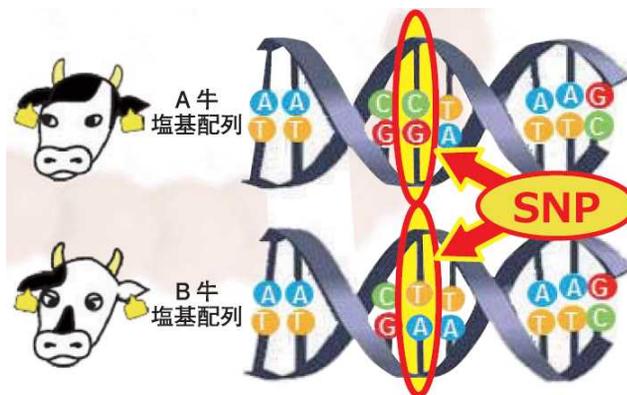
SNP検査にご協力頂いた場合は、当該牛の牛群改良情報（ゲノミック評価情報）を送付します。交配の際に、乳用後継牛を生産するか、付加価値生産するか、判断の材料としてご活用下さい。

なお、本検査は、我が国のゲノミック評価の基礎情報（リファレンス集団）として活用され、遺伝的改良の発展に寄与する大切なデータとなります。

SNP(スニップ)とは…

乳牛の遺伝情報は右図のような二重らせん構造をしたDNA内に塩基配列として保存されています。遺伝情報は乳牛全て同一ではなく、個体毎に違うところがあり、この違いのことをSNPと呼びます。

これは乳牛の毛根を検査することで知ることができます。



今年度の優秀検定員表彰は、「オリジナルつなぎ」です！

本会では、毎年30名程度の優秀な検定員を表彰しております。これまで、カタログギフトを記念の副賞としていました。受賞者からの意見として、「せっかくの優秀検定員表彰なので、カタログギフトより検定員として誇りを持って、今後の検定員業務の励みになるものを副賞とできないだろうか」という声が少なからず寄せられています。そこで、今年度の表彰から、下述のようなデザインのつなぎを記念品として新たに加えることとします。

平成28年度 優秀検定員表彰 副賞

「カタログギフト」と「オリジナルつなぎ」のいずれかを選択

左胸の刺繍は「Excellent Taro Gyugun」の文字は、「優秀検定員 牛群太郎」を意味します。受賞者個々にお名前を刺繍します。背中は、カッコ良い牛のイラストとともに「牛群検定」を背負って頂きます。サイズと色は自由に選べるように考えています。

背中プリント1色 直径25cm



左胸刺繍

*Excellent
Taro Gyugun*

優秀検定員の募集

優秀検定員は、5年以上の実務経験を持つ牛群検定の立会業務に従事している方で、人格、見識ともに高く、検定農家の信望が厚いことを選定基準としています。毎年、各都道府県の本会会員団体（牛群検定実施主体）から推薦を頂き、候補者を決定しています。詳細は、乳用牛群検定全国協議会のHPをご覧ください。